

## 第6章 1,000円台で書き込みもデバッグも可

# 超格安開発キット STM32VLDISCOVERY

永原 柊 Shuu Nagahara

1,000円台で購入できる ARMマイコンのスタートキットを動かしてみます。書き込み&デバッグ・ツールとしても利用できる一押し ARMマイコン学習用キットです。

本章では、特集を執筆している時点でもっとも安く入手できるワンチップ ARMマイコンの評価キット **STM32 Value line Discovery** ボード (ST マイクロエレクトロニクス) を紹介します。サンプル・プログラムが充実しているだけでなく、**1,000円台**で購入できます。ブレッド・ボードなどを使った拡張も簡単です。私の一押し ARMマイコン学習用キットです。

本スタートキットを使った製作記事「STM32VL DISCOVERYで作る電子オルゴール」(p.162)も参考にしてください。

### 評価キットの概要

#### ● 内容物

STM32 Value line Discovery ボードには、次の2点が同梱されています。

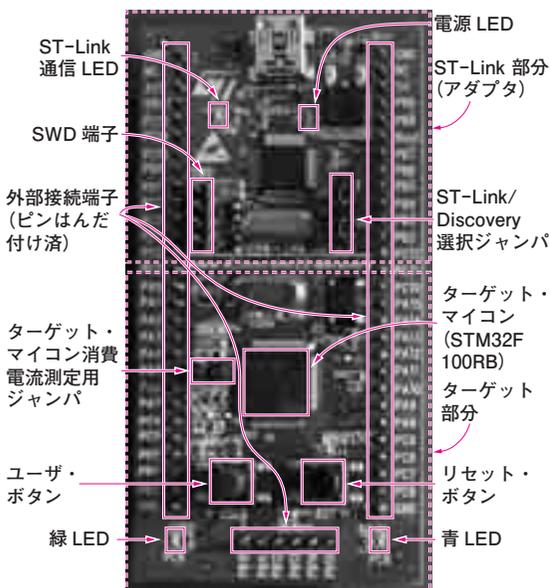


図1 STM32 Value line Discovery に同梱されている基板の外観

#### ● ARMマイコンが搭載された基板(図1)

#### ● 簡単な説明書(厚紙1枚)

詳しい使い方やソフトウェアは、説明書に記載されているウェブ・サイトから入手します。

マイコン基板(図1)は、

#### ● アダプタ部(ST-Link): 書き込み&デバッグ基板(図1の上の部分)

#### ● ターゲット部: 開発するターゲット・マイコン基板(図1の下の部分)

の二つの部分から構成されています。

#### ● 開発環境

マイコン基板を USB でパソコンに接続すると、図2に示すようにパソコンはこの基板をリムーバブル・ディスクと認識します。そしてウェブへのショートカットが格納されたフォルダが表示されます。各フォルダは読み出し専用のもので、書き込むことはできませんでした。

フォルダ内のアイコンをクリックすると、関連ウェブ・サイトを参照できます。本章を執筆し始めた時点では、自動的に参照できたのですが、ある時期から ST マイクロエレクトロニクスのウェブ・サイトのデ



図2 ターゲット基板をパソコンに接続したときに現れるパソコンの画面

パソコンはターゲット基板をリムーバブル・ディスクと認識する